

巻頭言

この度、令和3年より奈良県立医科大学看護研究ジャーナルが誕生いたしました。本ジャーナルの目的は、看護に関する研究の発展を目指し、看護実践の向上と看護学の展開に寄与することです。

振り返りますと、本学看護学科の前身である奈良県立医科大学看護短期大学部紀要から、平成16年に奈良県立医科大学医学部看護学科紀要へ受け継がれ、そして今回新たに看護研究ジャーナルへと名称が変わりました。まさにこれから、奈良県立医科大学看護研究ジャーナルとして歴史を重ねていこうとしています。

今年はCOVID-19の世界的感染拡大により、1年延期になった東京オリンピック・パラリンピックが開催された年でありました。世界中の医療従事者に対する感謝の意が示され、そんな医療従事者を輩出すべく責務を私たち看護学科の教員はより一層感じたことと思います。このような状況下において、日々教育と研究に努力することが、アカデミアにいる大学教員として世の中から求められていることだと感じております。

学術雑誌は、論文を投稿する方がたくさんいて、それを受け入れ査読・編集をする委員がおられてこそ大きく発展していくものです。この奈良県立医科大学看護研究ジャーナルが、本学に関わる多くの方々の看護研究の成果発表の場となることを願ってやみません。

令和3年8月

看護学科長 石澤 美保子